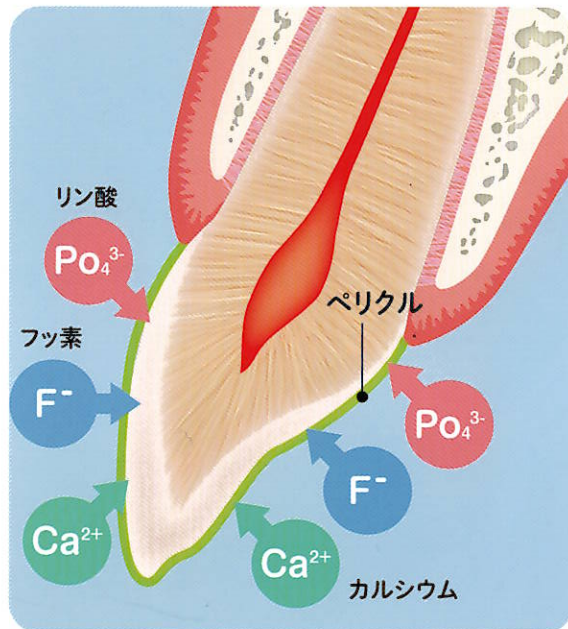


ココが違う! 歯医者さんのホワイトニング

歯を強くするチャンスです!

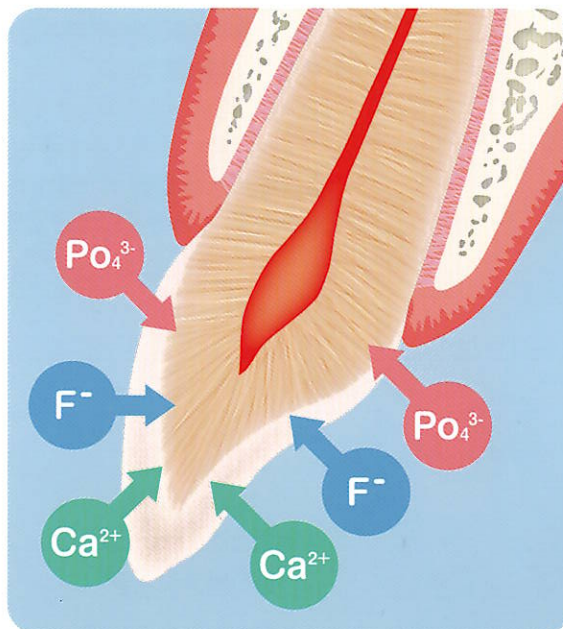
ホワイトニングの薬剤には、歯を白くするだけでなく、歯を強くするのに役立つ効果もあります。

ホワイトニング前の歯



ふだんの歯は、唾液由来のごく薄い透明な膜の「ペリクル」で覆われています。このペリクルには歯を保護する役割があります。

ホワイトニング直後の歯



薬剤の効果でペリクルが一時的にはがれた状態は、カルシウムやリン酸、フッ素がより歯に吸収されやすい状態です*。だから、ホワイトニング直後にフッ素やCPP-ACなど歯を強くする薬剤を塗ると、効果が非常に高いのです。

*深澤正幹ほか、生活歯漂白後のエナメル質の耐酸性、日歯保存誌、2000；43(5)：1107-1112。／岩谷いずみほか、エナメル質漂白に対する再石灰化処理の影響、日歯保存誌、2009；52(1)：1-11。

**鈴木英明ほか、過酸化尿素の齲蝕原因菌に対する抗菌効果、日歯保存誌、2012；55(6)：373-380。

監修：愛知県●医療法人ジニア ぱんだ歯科院長 須崎 明

殺菌作用も期待できます!

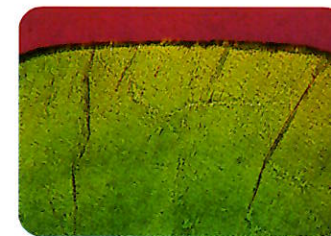
ホワイトニングの薬剤(過酸化水素や過酸化尿素)は、消毒薬にも使われるオキシドールの仲間。殺菌作用があるので、お口の中全体のむし菌や歯周病菌を減らす効果が期待できます**。とくにホームホワイトニング(ノ)では、毎日、歯に薬剤を塗布するので、さらに効果は増加すると考えられます。



歯を傷めることはありません

歯科で使われているホワイトニングの薬剤が、歯にダメージを与えることはありません。実験用に、抜いた歯に薬剤を作用させてから薄片に切り、偏光顕微鏡で観察したのが↓の写真です。

健全な歯



健全な歯の表面。エナメル質が緑色に写っています。

ホワイトニング後



ホームホワイトニング用の薬剤を1回120分、3回塗布した後。歯質へのダメージは見て取れません。